

公益信託「こうちNPO地域社会づくりファンド」

平成15年度ファンド助成を受けた団体の応募（活動）内容等

助成応募時の公開審査会（プレゼンテーション）資料等を抜粋加工

No	団体	内容（活動テーマ・資金使途・主な活動地域）
1	映画「エイブル・able」を高知で上映する会	社会一般の人たちに障害者に対する理解を深めてもらう。映画はダウン症・自閉症の日本人少年二人がアメリカでホームステイして地元の人々と交流しながら成長していくドキュメント。この上映を成功させることで、スポーツを通して障害者の自立を育てる目的の「スペシャルオリンピックス」を高知県で継続的に広げる基盤にしていく。5月に6日間、高知、春野、市内各高校で上映。会場費、フィルム代、映写技師料、印刷費、電話通信費等。高知県内
2	NPO法人四国自然史科学研究センター設立準備室	四国地方の自然史の調査研究、普及啓蒙事業を通じ、四国地方の自然環境保全および復元、地域の経済的、社会的、文化的発展に寄与する。今回は4月にグリーンピア土佐横浪で行うNPO法人設立記念シンポジウム「四国の自然はいま（仮題）」の開催費用についての助成を希望。内容は二部構成で、第一部は自然科学史系のような組織に活動事例を紹介いただく。第二部は問題点や発展の方向性についての総合討論とする。謝礼金、宿泊費、交通費、会場費、通信費、消耗品費、資料作成費等。四国地方
3	特定非営利活動法人 地雷除去国際協力センター	手作業では千年もかかると言われる対人地雷の探知・除去の研究開発支援および地雷埋設諸国に対する地雷除去の人的支援を行うことで、国際貢献に寄与する。地雷除去を加速させるキャンペーン活動と募金活動を行う。高精度地雷探査装置は高知工大などの協力により開発済み。試作品を作る費用と現地での実証実験等に必要な2千万円の資金を集めていく。啓発パンフレット印刷費用、ノボリ・募金箱作成費用、交通費等。ベトナム、カボゾア、アフガン、東ティモール等地雷埋設諸国、国内主要都市
4	特定非営利活動法人 ごめん・なはり線を支援する会	県東部地域のごめん・なはり線を活用したまちづくりの推進をはかる。事業としては、同線及び東部地域の情報発信、市町村や地域住民のまちづくり活動に対する支援、まちづくりイベントの実施など。「ごめん・なはり線友の会」という同線のファンクラブを運営している。今回は「のんびりウォーキング～ごめん・なはり線各駅停車～」というイベントへの助成を希望。年3回、3箇所（南国市、自転車道、安田町）にて開催。新聞広告・ポスター作成等募集費用（委託料）、旗・参加証明書作成費用等。県東部地域
5	特定非営利活動法人 地域福祉サポート あ・とむ	～あたたかい暮らしのおてつだい～をテーマに障害者・高齢者の地域福祉の充実を図ることを目的とし、音楽を媒介にした地域交流や相談事業、医療・福祉関連職員の資質の向上等に取り組む。年4回の「普段着で楽しむ音楽会」、隔月の「音楽で遊ぼう」などの地域交流事業、居宅介護支援、生活支援などの相談事業、医療福祉関連職員の資質向上を図る「スキルアップ研修会」、成年後見制度の啓発事業などを実施。給料手当・賃金、通信運搬費、光熱費、賃借料、諸謝金等。土佐市

公益信託「こうちNPO地域社会づくりファンド」

平成15年度ファンド助成を受けた団体の応募（活動）内容等

助成応募時の公開審査会（プレゼンテーション）資料等を抜粋加工

No	団体	内容（活動テーマ・資金使途・主な活動地域）
6	ゆうきリサイクル高知	生ごみなどの有機性廃棄物を燃やさずに適切な処理を施し、土に還して循環させる、またこのことを高知県民に対し普及・啓発していき循環型社会の形成を目指す。高知市と周辺市町の家庭への生ごみに関するアンケート調査、生ごみ堆肥化の成功事例見学ツアー、環境農園づくり、生ごみ・食品リサイクルシンポジウム参加、会報発行などを実施。理事会・総会・勉強会等の会議開催費用、印刷代、郵送代、通信機器・備品等購入費、ホームページ作成・会報発行などの広報費等。高知県内
7	南国フレンドパーク	障害児が地域の人々と活動を共にすることにより、生活経験を広げ、社会性を養い、好ましい人間関係を育てることを目的とする。また、障害や介助等についての知識をもつ高校生等のボランティアの育成、協力促進をはかる。 15年度は「プールへ行こう」「倉敷チボリ公園へ行こう」「クリスマス会」「雪遊びをしよう」などを実施する予定。ボランティア謝礼等報奨費、消耗品費、通信費、備品費、旅費、保険料、プール使用料、バス借上料、リフト代等。南国市
8	高野・農村歌舞伎保存会	高野地区に伝わる伝統芸能である農村歌舞伎を守り、後世に伝えるとともに地区の活性化につなげる。昭和52年に20年ぶりに復活以来4年ごとに開催。前は13年10月に開催したが、途中で火災が発生し舞台屋根の一部を焼失、一演目を残して中止となった。修理も終わり4年を待たずして上演の熱意が高まり10月に開催するもの（村・村教育委員会と共催）。諸謝金、指導者旅費、音響・照明・ビデオ収録等委託費、会議費、ポスター・チラシ等印刷費、会場設営費、仮設電源等。東津野村
9	特定非営利活動法人 黒潮実感センター	柏島を「丸ごと博物館」として捉え、環境保全と地域おこしの両立を目指し、行政・NPO法人・地域住民と共に、人と海が共存できる持続可能な里海づくりを推進する。海環境教育の推進、柏島里海憲章(仮称)策定、海洋セミナーの実施、魚介類等の地元産品を販売する「里海市」開催、リ・チェック(サゴ)の健全度調査活動)、海浜・海中清掃活動、アライカ人口産卵床の製作・設置及び追跡調査など。消耗品費、謝礼金、会議費、船舶チャーター費、潜水用タックチャージ費、旅費、廃棄物処理費、テント・テーブル賃借料等。大月町
10	高知いのちの電話協会	ボランティア活動による電話相談を通じて、青少年・高齢者およびその家族の心の悩みの解決につき援助する。電話相談業務とともに相談員の養成事業も行う。現在99名の相談員が1日12時間4交代で活動し、年間4400件の相談を受けている。将来は365日24時間態勢を目指す。2001年より12月に全国一斉の自殺防止のリーダールール電話相談を実施。来年度も通常事業の他に電話相談員養成講座、施設見学などを実施。消耗品費、通信費、水道・光熱費、会議費、連盟会費、研修費、書籍購入等。高知県内

公益信託「こうちNPO地域社会づくりファンド」

平成15年度ファンド助成を受けた団体の応募（活動）内容等

助成応募時の公開審査会（プレゼンテーション）資料等を抜粋加工

No	団体	内容（活動テーマ・資金使途・主な活動地域）
11	高知市こども劇場	<p>子どものためのすぐれた舞台芸術の観賞と自主的な地域活動を通して、子どもたちの友情、自主性、創造力を育み、健全な成長をはかる。今回は、良質の笑いを伝える古典芸能の「狂言」。7月に狂言ワークショップ（会場未定）、8月に舞台鑑賞という体験の場を提供する（県立美術館ホールにて）。公演してもらおう茂山一門の「こどもプログラム」はたいへんわかりやすいと評価されている。初心者向けと中級プログラムの2回上演。講師料、公演料、交通費、運搬費、宿泊・食費、印刷費、会場費、実行委員会経費等。高知市</p>